

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は12月11日のst.2で3.1mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は12月9日のst.4で6.3mg/Lであった。		<p>今月の県施工工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、埋戻し、被覆石荒均し、養浜砂投入、捨石投入、捨石荒均し、被覆ブロック据付、裏込材投入等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工工事は、岸壁築造工事、橋梁撤去工事、浚渫工事及び土砂処分場整備工事で、浚渫工、土捨工、上部工、裏埋裏込め工、仮設橋梁撤去工(補強・撤去)、被覆・根固め工、構造物撤去工、汚濁防止膜移設、土工等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>		
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】			全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.3mg/L、0.4～3.1mg/Lの範囲で推移していた。
		工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】			全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は0.8mg/L、0.2～6.3mg/Lの範囲で推移していた。
		流入部負荷量の調査地点			SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=5回(28計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(28計測中) 平均値は8.0mg/L、3.6～17.7mg/Lの範囲で推移していた。
		流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。			12/24の17.7mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日34.5mm、当日11.5mmであった。、
基準超過時の気象概況	・全ての地点で、監視基準を満足していた。		<p>【調査位置図】</p> 		
基準超過時の工事状況	全ての地点で、監視基準を満足していた。				







第9回(12月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和2年12月1日～令和2年12月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観 察 結 果	<p>調査地点の最高値は12月9日(AM)のst.5で観測された8.6mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質 調 査 結 果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8: SS=11mg/L】</p> <p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は1.9mg/L、&lt;1.0～8.6mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p> <p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=28計測中15回 st.15=28計測中22回</p> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=28計測中0回 st.15=28計測中0回</p>	特になし	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p> <p>st.14: 12/23 (PM 下げ潮時)49mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が2.5mm、前日が0.0mm、当日が34.5mmであった。降雨による濁水が見られた。 st.15: 12/23 (PM 下げ潮時)28mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が2.5mm、前日が0.0mm、当日が34.5mmであった。降雨による濁水が見られた。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>	<p>【調査位置図】</p>		
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			



